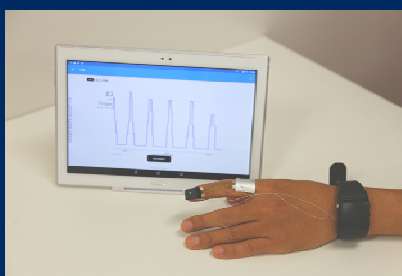


伸縮性・通気性配線を用いて継続的な生体モニタリングを実現

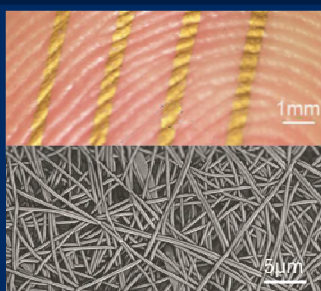
高精度な感情推定を可能とする 生体情報センシング技術

生体調和性が高い伸縮性のある脈拍センサモジュールを開発しました。装着負荷が低いため、長時間安定したデータを取得する事が可能となります。今後は、取得された脈拍データから装着者の感情を推定することで、業務管理やヘルスケア分野での応用が期待されます。

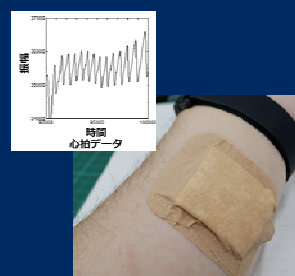
※東京大学 染谷隆夫教授との共同研究



皮膚直接貼り付け可能な配線を用いた脈拍センサによる生体情報計測



繊維状ナノサイズの高ワイヤーにより皮膚への密着性・伸縮性・通気性を確保



貼付により体動等の影響が少なく高精度なデータ収集が可能

社会価値：

- ストレス確認・環境改善支援
- 老人・子どもの見守り

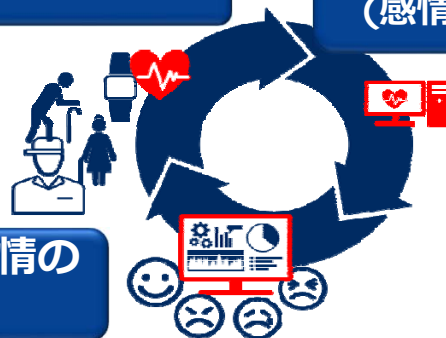
適用想定者：

- ・ 工場等の作業員・入院患者
- ・ 高齢者・児童/幼児 など

バイタル収集

データ分析
(感情推定)

ストレス・感情の
見える化



特徴・導入効果

- ナノメッシュ配線の伸縮性、通気性により、生体センサの課題であった装着性を大幅に改善
- ストレスなく心拍変動を検出、感情の変化を推定
- 高齢者のヘルスモニタリングにも適用可能

NEC 中央研究所 研究企画本部

URL: <https://jpn.nec.com/rd/index.html>

E-mail: nec_crl@rdpo.jp

